

さあ、出かけよう
人やまちと
つながろう

超高齢化社会の現在、住み慣れた地域で健やかに暮らしていくために、さまざまな活動に取り組む高齢者の皆さんがいます。今回、地域の中で生きがいを持ち、自分らしく生き生きと輝いている皆さんに話を聞きました。花の会の他に、シニアクラブやサロンなど、地域には人が集う場がいくつもあります。いつまでも健やかに過ごすために、あなたも一歩外へ出かけてみませんか。



「花が大好き。花のおかげでみんなと出会えた」と話すメンバーの畠田松枝さん

「西萩間花の会」

「多くの人に花を楽しんでほしい。一緒に活動する仲間を作りたい」という思いを持った人たちが集まった「西萩間花の会」。平成4年に発足し、今年で31年目を迎えました。平均年齢82歳、多い時に16人だった会員も現在は4人。地区の花壇管理の他、小学校の花壇の手入れや児童クラブのふれあい教室への参加など意欲的に活動しています。



作業の様子

仲が良くて、この前みんなと食事に行ったよ

大変なことはあるけど、また種から花が咲くとうれしいね



花のおかげで、みんなとおしゃべりできて楽しい

お互いさまでやってるよ

◀笑顔にあふれ、話が尽きない会の皆さん

ひと朝のボランティア

西萩間区では年1回、花の会だけでなく、地域の人や子どもたちが協力して花壇の手入れをします。



地域のつながりが感じられた



花を植える時期や木の芽の摘み方を教えてもらったよ

きれいな花が咲いてほしいな



満100歳を迎えられた楠田さん④とご家族、お祝いに駆け付けた杉本市長

9月18日は「敬老の日」です。敬老の日が国民の休日と定められてから、今年で57年目になります。市内の100歳以上の高齢者は、令和5年9月1日現在61人、最高齢は108歳です。長年にわたり、社会に貢献してこられた高齢者の皆さんに感謝と敬意を込めて長寿をお祝いしましょう。問い合わせ 長寿介護課 萩原美保 ☎(23)0074

元気の秘訣は、

体を動かして何でも食べること

楠田かずゑさん(100歳・新庄区)

5月22日めでたく満100歳を迎えられた楠田かずゑさんが入所する施設に、ご家族がお祝いに駆けつけました。かずゑさんは「ちよくちよく会いに来てくれるから嬉しい」と照れくさそうに微笑んでいました。

かずゑさんは、農家に嫁いでから77歳までお茶や麦、メロンなどを作っていました。施設に入所するまでは軽い畑仕事や草取り、現在も施設の畑で野菜作りや草取りをして体を動かしています。暖かい日には施設のみんなを外に出て、日光浴しながら輪投げもやっています。

また、お祝いのため訪問した杉本市長に「好き嫌いやなく、何でも食べる」と元気の秘訣を話していました。

穏やかで、いつもにこにこ笑顔が絶えないかずゑさん。これからも元気で過ごしてください。



施設の皆さんと輪投げで楽しむ楠田さん④

米寿のお祝いお菓子券

市では、88歳(米寿)のお祝いとして「お菓子引き換え券」を配布しています。敬老の日に合わせて、昭和10年4月1日から昭和11年3月31日までに生まれた人に引き換え券を郵送します。

引き換え券が届いた人は、券の裏面に記載のある店舗で、お菓子と引き換えてください。



牧之原市お菓子引き換え券